

あとがき

〈編集顧問〉

太田 保 世
諏訪 邦 夫
堀江 孝 至
村山 正 博

〈編集委員〉

和 泉 徹
小 川 聡
永 井 良 三
平 山 篤 志
三 嶋 理 晃

〈編集協力委員〉

赤 石 誠
赤 柴 恒 人
北 風 政 史
近 藤 哲 理
中 沢 潔
(五十音順)

去る3月11日の東日本大震災の犠牲となりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族には心よりお悔やみを申し上げたい。今回の震災では、多数の医療・介護関係者も犠牲になられた。患者を誘導している最中に津波に襲われ、犠牲になられた方も多かったと思われる。医療者以外にも、消防、警察、自衛隊等、公的な仕事にあたった人たちの犠牲も多く、職務の重さを改めて感じさせられる。

地震に続いて起った原子力発電所の事故には、世界中が暗然とさせられている。かつて医療事故が社会的問題になったとき、医療関係者はいかに原子力発電のシステムと安全教育が徹底しているか聞かされた。しかしながら実際に事故が起ってみると、多くの問題点が浮き彫りとなった。

今回の災害を契機に、現代社会を支える科学について考えるのも重要だろう。16世紀までは、天体のように規則正しい運動を示す現象が、主な知識の対象であった。一方、人間の営みを含めて地上の現象は、運不運をもたらすために、無知の世界に属するとされていた。ところが、科学革命や統計科学の発達によって人間の営みも知識の対象となり、自然を制御して人間のために役立てることができるようになった。さらに、19世紀中期には、物質の研究者について、従来の自然哲学者という呼称を改め、サイエンティスト(科学者)と呼ばれるようになった。しかしながら、科学技術が社会に浸透するにつれ、科学者には改めて広範な知識と高い説明能力を求める時代が到来した。

不確実な地上の営みであっても、その災いを減らすには、各専門家が共通して持つべき基盤文化がある。医学は当然であるが、自然科学全体についても、研究や教育のあり方を見直す時期にあると思う。

(永井良三)

呼吸と循環(第59巻 第5号)

2011年5月15日発行(毎月1回15日発行)

定価 2,730 円(本体 2,600 円+税 5%)

(2011 年年間購読料)
冊子のみ 31,800 円 冊子+電子版 41,400 円
電子版/個人 31,800 円 電子版/共有 36,570 円
(税込み、配送料弊社負担)

E-mail: kotojun@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kotojun>

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5703

(担当: 樋川・今田)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三美印刷株式会社 電話 (03) 3803-3131

広告申込所 (株)医薬広告社 電話 (03) 3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2011, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

JCOPY 〈樹出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(株)出版社著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。